

2022年9月6日(第13・14回)

2022年度JLA中堅職員ステップアップ研修(2)

領域1:図書館を運営する

## 図書館サービス計画の立案・策定(1)(2)

浅見佳子(鎌倉市中央図書館)

### 1 二日間の講義の構成とスケジュール

<9月6日(火) 9:30-12:00 >

図書館サービス計画の立案・策定(1)図書館サービスの計画立案プロセスの手法を学ぶ

図書館サービス計画の必要性和「望ましい基準」

計画立案の各段階と留意点

とある図書館のサービス計画策定の軌跡

(30分ごとに5分程度の休憩を入れます)

<9月6日(火)14:00-16:30 >

図書館サービス計画の立案・策定(2)図書館サービスの計画を策定する

ブレイクアウトルームでのグループワーク

グループ分け/自己紹介(一人1分)

事前課題で挙げた課題3項目と補足説明(一人3分)

新たな指標のアイデアを共有(一人2分)

次回発表の仮想〇〇図書館の名前を決める(5分)

(休憩)

仮想〇〇図書館の状況設定(10分)

仮想〇〇図書館の取り組むべき重点事業(20分)

(休憩)

グループ発表(1グループ5分)

<9月 27 日(火) 9:30-12:00>

策定計画の発表と討議(1)グループワーク プレゼンテーション案の作成

ブレイクアウトルームで前回のグループごとで画面共有しながら作成

<9月 27 日(火)14:00-16:30 >

策定計画の発表と討議(2)グループごとに全体発表(1グループ7分ずつ発表)

図書館サービス計画を発表し、内容の要点とその効果を説明する。

質疑(講師、研修委員)

グループ発表後、各グループの発表内容について、課題や見直し点、今後の可能性について

全体討議

講評とふりかえり

## 2 図書館サービス計画の必要性和「望ましい基準」

- (1) 図書館サービスの評価を「望ましい基準」に
- (2) 「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」の文部科学大臣による告示(2001 年7月)
- (3) 2008 年図書館法一部改正
- (4) 「図書館の設置および運営上の望ましい基準」2012 年

## 3 計画立案の各段階と留意点

- (1) 自治体の概要の把握
  - ・自治体の現状
  - ・全国の公立図書館を取り巻く現状
  - ・自館の現状
- (2) 図書館の評価
  - 『公立図書館の任務と目標・解説』(日本図書館協会)巻末の図書館の自己点検・評価のためのチェックリストを使い、現在の所属自治体の図書館サービス水準について

把握し、一度は全ての業務を棚卸ししてみる。  
成果が上がっているところ、手付かずのところが見えてくる。

- (3) 課題とその解決方策  
利用者懇談会等、双方向の意見から共通のこと、食い違うことから課題を抽出
- (4) 図書館のめざすもの(ミッションとビジョン)  
図書館法全文に掲げられた使命を果たすためにサービスを実施  
そのために取り組む重点事業と基本的役割(使命)の双方を押さえて取り組む  
例／国立国会図書館ビジョン 2021-2025
- (5) 意見聴取(パブリックコメント)
- (6) 年次計画と評価
- (7) 広報

#### 4 とある図書館のサービス計画策定の軌跡

- (1) 平成 12(2000)年「鎌倉市図書館サービス計画」  
短期3年、中期5年、長期計画 10 年以上 課内職員チームでの作成  
計画の期限や検証評価方法、根拠の明確化、メディアや利用の変化への対応が必要に
- (2) 平成 26(2014)年「第2次鎌倉市図書館サービス計画」 5年間
  - ア (第1次)サービス計画の達成度と課題 図書館サービスの総ざらい  
『公立図書館の任務と目標解説』『図書館評価のためのチェックリスト』の活用  
「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」危機管理、図書館協議会等の項目追加
  - イ 図書館協議会へサービス計画の方針について諮問  
3つのサービス方針  
(図書館は生涯学習の拠点、鎌倉ならではの図書館、市民とともに創る図書館)の答申
  - ウ 策定への市民参画の方法  
パブリックコメント、市民(18 歳以上無作為抽出 2000 人)及び来館者アンケート
  - エ 評価方法と進捗管理

## 毎年度の重点事業とその成果

12月 各事業進捗状況の共有

2月 次年度予算の見通しが立ったところで、職員全員での次年度の重点事業の候補と方針決定。取組項目一覧を概観し、バランスや達成難易度、不足な点を協議。

3月 図書館協議会での成果と次年度重点事業について報告承認助言

4月 「図書館だより」、「鎌倉市の図書館(事業報告)」での周知

### (3) 平成31(2019)年「第3次鎌倉市図書館サービス計画」4年間

#### ア 市政の転換期における図書館ビジョン

市の基本構想(30年)＞基本計画(6年)＞実施計画(前期3年、後期3年)

市の様々な行政計画への参画

図書館運営に関する図書館協議会の諮問答申

#### イ 計画の位置づけ

#### ウ 利用状況分析による鎌倉の地域図書館のあり方

「つながるひろがる100年図書館」5回の利用者懇談会での意見交換

地域の図書館がそれぞれパフォーマンスを伸ばす方針を計画に反映。

市内5館を合わせた総合力で、それぞれの地域図書館を活かす方法。

#### エ 評価指標

数値目標として、従来の貸出数で評価したり、予算増を目標にしたりすることは、社会ニーズに合っているか。

新しい評価指標づくり

活字文化議員連盟・公共図書館プロジェクト『公共図書館 -「新しい公共」の実現をめざす-』

貸出状況のほか、デジタル化時代の読書環境整備、資料整備、地域課題への適応力、専門職員の雇用配置育成、バリアフリー度、自治体内の優先順位、住民との協働運営

### (4) 令和5(2023)年「(仮)第4次鎌倉市図書館サービス計画」3年間

ア 新庁舎移転(2028年予定)、現本庁舎跡地への中央図書館等再整備計画との調整

イ SDGs、バリアフリー法、コロナ禍の生活形態の変化等による思考の転換

ウ 子ども読書活動推進計画等、図書館内外の計画との期間や内容の相互調整

エ アンケートや意見集約方法の変化

## 5 グループワーク

あなたの図書館のサービスの課題である重要項目を3つ発表し、施策案を構想する。

新たなサービス評価のアイデアを出す。サービス指標としての意味を合わせ考える。

仮想図書館〇〇 ネーミング

状況設定や課題を仮定し、取り組むべき重点事業と施策案を構想

## 6 グループごとに全体発表

仮想図書館〇〇図書館サービス計画策定にあたって

策定進捗状況の発表